



# おなががすいた

## インターネットで日本の食生活を調べよう

このレッスンプランには、テクノロジー面、文化面、言語面の目的が含まれている。テクノロジー面のねらいは、ラップトップコンピューターを使ったり、情報を入力できるインターネットを利用してマルチメディアに精通すること、文化面のねらいは日本の料理や食習慣に親しむこと、そして言語面では、日本の料理や食習慣に関して役に立つ語句や文型を学ぶことである。



レスリー・マリンス  
**Leslie Mullins**  
マウント・ウェイバリー  
中/高校  
(オーストラリア、ビクトリア州)

### 目的

#### 言語面の目的

語学上の問題を解決するためにマルチメディアを利用できるようになる。  
必要な食べ物と飲み物を注文するために日本語を使うことができるようになる。  
目的を達成するためにチームワークで取り組むことができるようになる。

学習する機能	学習する表現	学習する語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 飲食に関する名詞や前置詞句を使う</li> <li>❖ 飲食を説明する語句、名詞、副詞、動詞を使う</li> <li>❖ 基本文型を使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 飲食に関する表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 飲食に関する言葉</li> </ul>

#### 文化面の目的

日本の食べ物や飲み物を注文する。  
日本の家庭にホームステイ中、家族と一緒に食事する時に支障なくふるまう。  
日本料理を楽しむ。

## LESSON PLAN

### 用意するもの

マルチメディア・スキャフォードプログラム(教師作成)

Windows 97

Word 97

JPW(インターネットからダウンロードした  
日本語ワープロソフト)

TriplePlayPlus! Living Language Multimedia,  
A Random House/Syracuse Language Systems  
Program( CD-ROM)

### 授業の進め方

1. 生徒は、教師作成のマルチメディアプログラムを使い、授業中にどんな順番で活動していくかを選択する。授業内容には、インターネットへのアクセス、CD-ROMの使用法のほか、日本語ワープロの使い方を学び、電子メールで通信するなど、対話型の活動が含まれる。

### 2. 評価方法

- ❖ スキャフォードファイルの内容
- ❖ JWPで作成したもの
- ❖ 電子メール文書

### 参考資料

インターネット・サイト(サイトは、学校のサーバーに保存し、短時間に接続できるようにしておく必要がある)

<http://www.jinjapan.org/kidsweb/>

<http://jin.jcic.or.jp/kidsweb/>

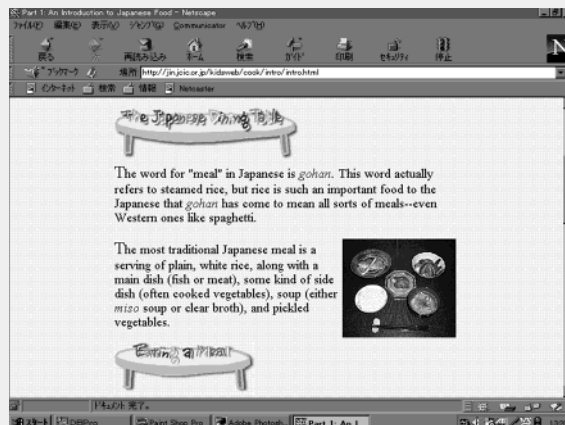
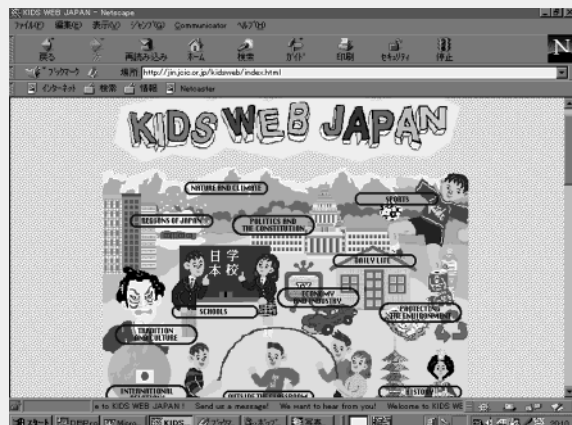
(1998年7月現在)

(その他のホームページアドレス、92頁参照)

## JAPAN INFORMATION NETWORK

### —KIDS WEB JAPAN—

<http://jin.jcic.or.jp/kidsweb/>  
<http://www.jinjapan.org/kidsweb/>



## 文化理解と外国語学習について

### インターネットが遠距離学習の壁を打ち破る

外国語学習指導の基本目的は、個人対個人のコミュニケーションである。ことばには文化的背景があり、真のコミュニケーションは語彙や文法の知識だけでは成り立たない。中身のあるコミュニケーションのためには、自分が話したり聞いたりする言語の文化的背景を理解しておく必要がある。当然、ことばと文化は切り離して教えられないものではなく、別々に教えれば、それは人工的な作りものになってしまう。学習言語やその文化が学習者の身近にない場合には特に、語学指導の基本に文化的な知識の習得を取り入れるべきである。

文化理解はまた、生徒にことばを「生きたもの」と感じさせるものである。文化を理解すればするほど、「どうしてそうなの？」といった質問は次第に少なくなり、学習上の障害も取り除かれていく。

外国語学習は、その国から遠く離れた中学校の教室のようなところでは、通常の授業以上のものである必要

がある。さもなければ、自分自身の文化的アイデンティティを確立しつつある10代の生徒たちに拒絶されてしまうだろう。語学教育は、すぐにそれを役立てたいという生徒の要求に合わせる必要がある。明らかに人工的であるにしても、生徒たちに語学学習に対する目的を持たせ、刺激を与えて意味のあるものにしよう、教師は意欲的に模索しなければならない。

ラップトップコンピューターや最新ソフト、遠距離の壁を打ち破るインターネット、楽しみながら学習できるCD-ROMなどを活用すれば、中高校の10代の生徒たちの求めに応じられる学習環境を整えることができるだろう。

以上が、私がマウント・ウェイバリー中／高校の新しい「ラップトップ」プログラムを担当し、私自身がこのプログラムを使った日本語教育に取り組むことを楽しみにしている理由である。

### 講 評

どのようにインターネットを使うかを含めて、より詳細な説明があればよかった。教師は文化紹介と言語学習のインターフェースとして、授業を進め、生徒をきちんと指導していかなければならない。特にALL(Australian Language Levels)ガイドラインに即した教材「よろしく」シリーズには食べ物や飲み物も多く含まれているので、それらとサイトとの関連を示すことは非常に意義のあることだと思う。


生徒主体でネット・サーフィンをさせるのであれば、その結果得たことを生徒間で情報交換させてもよいだろう。インターネットのサイト訪問だけでなく、ハードウェアの面が許されるなら日本の小／中学校との交流にも広がっていくことだろう。

## Japanese Language Multimedia Class 1 Scaffold Program

### **Topic: Japanese Food and Drink**

#### **Part A: Questions to find answers for.**

To find the answers visit [Kids Web Japan](#).

After you finished copying the answers, click on this button. 

What do the Japanese eat each day?

What are the following Japanese foods made of?

Ramen;

sushi;

tempura;


soba;

udon?

Where do Japanese families go for fast food?

---

#### **Part B: Now find out how not to go hungry or thirsty in Japan.**

Press this button  on the top right hand corner of your screen and it will go to "Program Manager."

Under the CD-ROM Window Select:

[Triple Play Plus Japanese](#)

On the CD-ROM

Select Food and Drink topic


Play Level One game: Match up for 5 minutes

Play Level Two game: What food is it? For 5 minutes

Play Level Three game: At the Café for 5 minutes

Then exit by double clicking on this button. 

---

On the "Program Manager" click on this button  to minimize the window. Then you will find a copy of icons on the bottom of your screen. Double click on the Netscape icon to return to this document.

JWP Lesson 1 of Food Table [Click Here](#)

Complete the table

Save to class directory

Open a new JWP file and tell the rest of the class what your favourite Japanese food and drink is (IN JAPANESE). Send your file to all class members using the group [email](#). Make Your JWP file an attachment.